

第23回 日本生命倫理学会年次大会 プログラム

第1日目 10月15日(土)

A会場 (井深大記念ホール)

9:30 - 9:35 開会宣言 岩志 和一郎 (大会実行委員長)
開会挨拶 甲斐 克則 (大会長)
早稲田大学法学学術院長挨拶 岩志 和一郎 (早稲田大学法学学術院長)

9:40 - 10:40 大会長講演 大会長：甲斐 克則

L1 生命倫理と法
甲斐 克則 (早稲田大学)

司会：岩志 和一郎 (早稲田大学)

10:50 - 12:20 学会企画シンポジウム

SS 生命倫理における正義
オーガナイザー：後藤 弘子 (千葉大学), モデレーター：金森 修 (東京大学)

SS-1 正義・福祉・愛—代理出産から考える
河見 誠 (青山学院女子短期大学)

SS-2 終末期と正義—日本的な尊厳死法制定反対論との対話—
嶋津 格 (千葉大学)

SS-3 ケアの倫理と正義論
岡野 八代 (同志社大学)

13:30 - 15:20 大会企画シンポジウム I

D1 グローバル社会における生命倫理と法
オーガナイザー：位田 隆一 (京都大学), モデレーター：甲斐 克則 (早稲田大学)
横野 恵 (早稲田大学)

D1-1 国際化する生命倫理と法の現状と課題
位田隆一 (京都大学)

D1-2 臓器提供モデルに関する倫理・法・世論の考察
Fu Chang Tsai (国立台湾大学社会医学部准教授)

D1-3 国際化する研究環境における研究ガバナンスと研究倫理審査委員会
Donald Chalmers (タスマニア大学法学部教授)

15:30 - 17:20 大会企画シンポジウム II

D2 ロボティクスをめぐる倫理と法
オーガナイザー：河原 直人 (早稲田大学), モデレーター：松原 洋子 (立命館大学)

D2-1 ロボットは、善いものか、悪いものか？
Massimiliano Zecca (早稲田大学理工学術院准教授)

D2-2 機械仕掛けのエチカ — ロボエシックスの諸問題 —
虫明 茂 (就実大学)

D2-3 ロボロー：ロボットに人権はあるか？
粟屋 剛 (岡山大学)

B会場（第1会議室）

10:50 - 12:20 公募ワークショップA

- WA 倫理コンサルテーションのプロセス
ー退役軍人健康庁(米国)作成による統合倫理の紹介ー
オーガナイザー：山口 三重子（岡山県立大学），モデレーター：児玉 聡（東京大学）
- WA-1 DVD：倫理コンサルテーションプロセスの紹介（PART1）
清水 ミシェル・アイズマン（甲南女子大学）
- WA-2 DVD：CASES アプローチの紹介
齋藤 信也（岡山大学）
- WA-3 倫理事例から倫理コンサルテーションプロセスを考える
竹倉 晶子（日本赤十字広島看護大学）

13:30 - 15:00 公募シンポジウムA

- SA 進化する合成生物学と生命倫理
オーガナイザー：四ノ宮 成祥（防衛医科大学校）
福士 珠美（独立行政法人科学技術振興機構 研究開発戦略センター）
河原 直人（早稲田大学）
モデレーター：大林 雅之（東洋英和女学院大学）
- SA-1 合成生物学・分子ロボティクスの最前線
瀧ノ上 正浩（東京工業大学）
- SA-2 合成生物学の持つデュアルユース性と生命科学者教育
四ノ宮 成祥（防衛医科大学校）
- SA-3 生命，アセスメント，コミュニケーションの倫理
吉澤 剛（東京大学）
- SA-4 科学技術政策の観点から合成生物学を考える。
菱山 豊（独立行政法人科学技術振興機構）

15:30 - 17:00 公募シンポジウムB

- SB 生命と尊厳 — 精神科医療における隔離・身体拘束を問う —
オーガナイザー：大西 香代子（園田学園女子大学）
モデレーター：丸山 英二（神戸大学）
- SB-1 隔離・身体拘束が増加する日本の精神科医療—その現状と問題点—
有我 讓慶（全国精労協・副代表（看護師））
- SB-2 精神病院での身体拘束を体験した上で、人権から見た医療的目的による拘束の
廃止の提起
関口 明彦（日本障害フォーラム）
- SB-3 不当・不要な隔離・拘束をどうやってなくすか
原 昌平（読売新聞大阪本社）

C会場（第2会議室）

10:50 - 12:20 一般演題1（口演） 生殖と医療

- 10:50-10:55 座長挨拶： 太田 喜久子（慶応義塾大学）
- 10:55-11:15 O1-1 代理懐胎における日本の産婦人科医師の見解
貞岡 美伸（蒲郡市立ソフィア看護専門学校/立命館大学）
- 11:15-11:35 O1-2 フランスにおける死後生殖に関する法的動向
本田 まり（芝浦工業大学）
- 11:35-11:55 O1-3 出生前選別の禁止の是非について
二階堂 祐子（明治学院大学大学院）
- 11:55-12:15 O1-4 上皮性卵巣がん患者の妊孕性温存治療に関する生命倫理的考察
松本佳也，妹尾沙織，月岡美穂，出口昌昭，土屋貴志（大阪市立大学）
- 12:15-12:20 座長総括

13:30 - 15:00 一般演題2（口演） 研究倫理・遺伝情報の取り扱い

- 13:30-13:35 座長挨拶： 足立 智孝（公益財団法人 モラロジー研究所道徳科学研究センター）
- 13:35-13:55 O2-1 研究倫理審査委員会の審査の質に関する調査
～3施設における審査記録の調査からみえてくること～
鈴木 美香（京都大学），佐藤 恵子（京都大学）
- 13:55-14:15 O2-2 熟年女性のゲノム・遺伝子解析研究に対する意識調査
本島 英（東海大学）
- 14:15-14:35 O2-3 ヒトゲノム・遺伝子解析研究で意図せずに見出された遺伝学的個人情報，
遺伝子異常についての対応
上杉奈々（日本学術振興会/明治大学），平原史樹（横浜市立大学）
- 14:35-14:55 O2-4 家族性腫瘍患者における「関係性の中の意思決定」
角田ますみ（東邦大学）
- 14:55-15:00 座長総括

15:30 - 16:20 一般演題3（口演） 生命倫理教育

- 15:30-15:35 座長挨拶： 大谷 いづみ（立命館大学）
- 15:35-15:55 O3-1 医療倫理教育はいかにして可能か
宮城 昌子（群馬大学）
- 15:55-16:15 O3-2 臨床倫理学教育と国語科文学教育
服部 健司（群馬大学）
- 16:15-16:20 座長総括

D会場（第3会議室）

10:50 - 12:20 一般演題4（口演） 障害者・高齢者と社会

- 10:50-10:55 座長挨拶： 鶴若 麻理（聖路加看護大学）
- 10:55-11:15 O4-1 日本の精神科医療における倫理的・法的・社会的問題
—「医療保護入院」の問題点を中心として—
村松 朋博（千葉大学）
- 11:15-11:35 O4-2 生命倫理学からみた障害者運動
—脳性麻痺者とその親との「関係障害」に着目して—
保条 成宏（福岡教育大学）
- 11:35-11:55 O4-3 障害者支援施設の利用者による主観的 QOL の認識
安藤 満代（聖マリア学院大学）
- 11:55-12:15 O4-4 高齢社会における医療・政策・コミュニティそして生命倫理の論点
—リハビリテーション医療現場から考えるガバナンスと多領域の整合—
牧山 康志（会田記念リハビリテーション病院）
- 12:15-12:20 座長総括

13:30 - 15:00 一般演題5（口演） ターミナル・ケア

- 13:30-13:35 座長挨拶： 会田 薫子（東京大学）
- 13:35-13:55 O5-1 リビングウイル作成支援の試みと終末期の事前指示についての現状
竹下 啓（北里大学北里研究所病院）
- 13:55-14:15 O5-2 終末期医療と看取りケア
大桃 美穂（早稲田大学大学院）
- 14:15-14:35 O5-3 治療中止に関するドイツの新しい判例動向
神馬 幸一（静岡大学）
- 14:35-14:55 O5-4 自殺の「自己決定権」について
石濱 照子（東京都中野区保健福祉部／東洋英和女学院大学大学院）
- 14:55-15:00 座長総括

15:30 - 17:00 一般演題6（口演） 生命倫理と文化・宗教

- 15:30-15:35 座長挨拶： 秋葉 悦子（富山大学）
- 15:35-15:55 O6-1 「自然良能（自然治癒力）」概念の史的変容：日本の補完代替医療の倫理と野口整体
田野尻 哲郎（東京大学大学院）
- 15:55-16:15 O6-2 グローバル・バイオエシックスと文化
岩佐 光広（高知大学）
- 16:15-16:35 O6-3 東アジア共同体としての実証的総合研究
—末期がん告知に見る日中韓学生の死生観の差異—
丸山 マサ美（九州大学）
- 16:35-16:55 O6-4 仏教者の脳死・臓器移植批判：生命倫理における宗教的要素の位置付けを考えるために
前川 健一（公益財団法人 東洋哲学研究所）
- 16:55-17:00 座長総括

第2日目 10月16日(日)

A会場 (井深大記念ホール)

9:00 - 10:30 大会企画特別ワークショップ

- SW 大規模災害をめぐる生命倫理と法
オーガナイザー: 木村 利人 (恵泉女学園大学), モデレーター: 山田 卓生 (日本大学)
- SW-1 持続可能なコミュニティにおけるバイオエシックスの展開
— 災害復興構想を通しての検討 —
空閑 厚樹 (立教大学)
- SW-2 科学・技術の使用をどう考え判断したらよいか
佐藤 恵子 (京都大学), 鈴木 美香 (京都大学)
- SW-3 広域放射線被曝の因果性と責任
蔵田 伸雄 (北海道大学)

10:40 - 12:10 大会企画シンポジウムⅢ

- D3 認知症をめぐる生命倫理と法
オーガナイザー: 箕岡 真子 (箕岡医院), モデレーター: 鈴木 利廣 (明治大学)
- D3-1 認知症ケアの倫理 — そのⅢ — 認知症終末期ケアを倫理的視点から考える—
箕岡 真子 (箕岡医院)
- D3-2 認知症終末期ケアにおける医療現場の視点 — 平穏死のすすめ
石飛 幸三 (世田谷区社会福祉事業団 芦花ホーム)
- D3-3 認知症の終末期における医療とケア — 諸外国の状況とガイドライン —
中西 三春 (一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会医療経済研究機構)
- D3-4 認知症をめぐる終末期医療と法
甲斐 克則 (早稲田大学)

13:30 - 14:20 総会 代表理事: 木村 利人 (恵泉女学園大学学長)

14:30 - 15:30 特別講演

- L2 医療人育成と生命倫理
池田 康夫 (早稲田大学教授, 慶應義塾大学名誉教授)
司会: 岩志 和一郎 (早稲田大学)

15:40 - 17:10 大会企画シンポジウムⅣ

- D4 研究倫理支援と研究者教育
オーガナイザー: 笹栗 俊之 (九州大学), 井上 悠輔 (東京大学),
田代 志門 (東京大学)
モデレーター: 児玉 聡 (東京大学)
- D4-1 研究倫理コンサルテーションの未来
武藤 香織 (東京大学)
- D4-2 黎明期の研究倫理教育: 実践から見える課題
松井 健志 (国立循環器病研究センター)
- D4-3 発表倫理と研究者教育
山崎 茂明 (愛知淑徳大学)
- D4-4 指定発言
楊河 宏章 (徳島大学病院)

B会場（第1会議室）

9:00 - 10:30 公募シンポジウムC

- SC 生殖ツーリズムにおける“利用する側”と“利用される側”
オーガナイザー：日比野 由利（金沢大学），島藺 洋介（金沢大学）
モデレーター： 清水 哲郎（東京大学）
- SC-1 不妊女性の意思決定モデルとその課題：とくに第三者が関わる生殖技術および養子縁組の選択・非選択をめぐって
白井 千晶（日本学術振興会特別研究員）
- SC-2 韓国の生殖ツーリズムと生命倫理 — 渡韓邦人夫婦の「不妊治療」をめぐって—
瀧上 恭子（元南山大学南山宗教文化研究所）
- SC-3 与え、与えられる—インドにおける商業的代理出産と互酬性
松尾 瑞穂（新潟国際情報大学）
- SC-4 東南アジア諸国の生殖補助医療の現状とツーリズム
日比野 由利（金沢大学）

10:40 - 12:10 公募シンポジウムD

- SD プラセボ治療の医療倫理 — 社会的合意形成に向けて
オーガナイザー：小松 明（帝京大学），モデレーター：仁志田 博司（医師）
- SD-1 プラセボ治療の全国アンケート調査から見えてきたもの
小松 明（帝京大学）
- SD-2 臨床現場から「プラセボ治療」を考える
三浦 靖彦（慈生会野村病院）
- SD-3 法的観点から見た「プラセボ治療」の論点
稲葉 一人（中京大学）

15:40 - 17:10 公募シンポジウムE

- SE 対人援助職の倫理的・法的対応力の養成～生命倫理学のすきま産業～
オーガナイザー：松田 純（静岡大学），堂園 俊彦（静岡大学）
モデレーター： 玉井 真理子（信州大学）
- SE-1 薬学倫理教育の現状と課題
古田 精一（北海道薬科大学）
- SE-2 リハビリテーション医療と倫理対応能力
青田 安史（浜松大学）
- SE-3 介護福祉士における倫理教育
天野 ゆかり（静岡県立大学短期大学部）
- SE-4 生命倫理学の戦線の拡大のために
松田 純（静岡大学短期大学部）

C会場（第2会議室）

9:00 - 10:30 一般演題7（口演） 患者の自律・自己決定

- 9:00- 9:05 座長挨拶： 手島 恵（千葉大学）
- 9:05- 9:25 07-1 法学的意思と意志の異同と患者の自己決定権
川崎 富夫（大阪大学）
- 9:25- 9:45 07-2 子どもの自己決定、同意能力をいかにとらえるのか
— イギリスの Gillick competence の議論を手がかりとして —
福田 八寿絵（早稲田大学）

- 9:45-10:05 07-3 アメリカにおける「成熟した未成年者」と医療に関する自己決定
久藤 克子 (岡山県立大学)
- 10:05-10:25 07-4 自律概念の再検討：実質的説明の擁護
樫則 章 (大阪歯科大学)
- 10:25-10:30 座長総括

10:40 - 12:10 公募シンポジウム F

- SF 遺伝子情報の取り扱いをめぐる倫理・法・社会
オーガナイザー：霜田 求 (京都女子大学), 瀬戸山 晃一 (大阪大学)
モデレーター：横野 恵 (早稲田大学)
- SF-1 消費者直販型 (DTC) 遺伝子検査についての日本と世界の現状と問題点
山中 浩司 (大阪大学)
- SF-2 中国における遺伝子検査全般の現状と問題点
文 輝 (大阪大学)
- SF-3 遺伝情報に基づく社会における差別と法規制
瀬戸山 晃一 (大阪大学)
- SF-4 ドイツ遺伝子診断法と保険加入について
清水 耕一 (海上保安大学校)

15:40 - 17:10 公募ワークショップ B

- WB 生命倫理学 3.1 — 討議を通して実践する学問としての生命倫理学
オーガナイザー：岩江 荘介 (独立行政法人 医薬基盤研究所), 土屋 敦 (東京大学),
モデレーター：後藤 弘子 (千葉大学)
- WB-1 「脳死論」の構図—生命倫理における「社会」の変化
皆吉 淳平 (芝浦工業大学・慶應義塾大学)
- WB-2 脳死における“錯視”—想像力を科学する可能性
戸田 聡一郎 (東京大学)

D会場 (第3会議室)

9:00 - 10:30 一般演題 8 (口演) 患者の視点

- 9:00- 9:05 座長挨拶：川上 祐美 (早稲田大学)
- 9:05-9:25 08-1 自家末梢血幹細胞移植を受ける思春期患児の造精機能障害に関する
ケアの検討
服部 翔太, 苅谷 三月 (岐阜大学医学部付属病院),
桂川純子 (日本赤十字豊田看護大学)
- 9:25- 9:45 08-2 患者自身の病気観
木内 さゆり (早稲田大学大学院)
- 9:45-10:05 08-3 病院内傾聴ボランティア活動の生命倫理的考察
足立 智孝 (公益財団法人 モラロジー研究所道徳科学研究センター)
- 10:05-10:25 08-4 ALS (筋萎縮性側索硬化症) 患者におけるサイバニクスの活用の可能性
富山 ひとみ (静岡大学大学院), 松田 純 (静岡大学)
- 10:25-10:30 座長総括

10:40 - 11:50 一般演題 9 (口演) 公共政策と生命倫理

- 10:40-10:45 座長挨拶：井上 悠輔 (東京大学)
- 10:45-11:05 09-1 生殖ツーリズムの規制をめぐる考察

— 渡航移植・移植ツーリズムとの比較から —

- 今井 竜也 (金沢大学)
- 11:05-11:25 O9-2 英国における渡航幫助自殺と国内規制への影響
高島 響子 (東京大学大学院), 児玉 聡 (東京大学),
赤林 朗 (東京大学)
- 11:25-11:45 O9-3 インフルエンザ対策をめぐる倫理的な議論の析出の試み — 「新型インフルエンザ (A/H1N1) 対策総括会議」の議事録を手がかりに —
大北 全俊 (大阪大学)
- 11:45-11:50 座長総括

15:40 - 17:10 一般演題 10 (口演) 認知機能障害とケア・意思決定

- 15:40-15:45 座長挨拶: 箕岡 真子 (箕岡医院)
- 15:45-16:05 O10-1 若年性認知症の配偶者間介護における倫理的課題についての考察
横瀬 利枝子 (早稲田大学)
- 16:05-16:25 O10-2 高齢者虐待防止の法的規制と認知症患者への対応とのギャップ
齋藤 泰一 (介護老人保健施設)
- 16:25-16:45 O10-3 認知機能障害がある患者のがん薬物療法における倫理的意思決定を目指した医療チームの取り組み
川瀬 静, 井上 さよ子 (愛知県がんセンター中央病院)
- 16:45-17:05 O10-4 日本における事前指示の現状と将来的展望
— 認知症ケア提供者を対象としたアンケート調査から —
川上 祐美, 空閑 厚樹, 角田 ますみ, 前川 健一, 河原 直人,
足立 智孝, 窪田 共和, 箕岡 真子 (バイオエシックスを考える会)
- 17:05-17:10 座長総括

ロビー

10:40 - 12:10 一般演題 11 (ポスター)

- 10:40-10:45 座長挨拶: 前川 健一 (公益財団法人 東洋哲学研究所)
- 10:45-10:55 P-1 複数性をめぐる倫理 西田とトーリーの比較を通じて
小田桐 拓志 (スタンフォード大学)
- 10:55-11:05 P-2 生命倫理学理論としての生命中心主義の再構築
藤井 可 (佐賀大学)
- 11:05-11:15 P-3 信頼の生命倫理 — オノラ・オニールの議論を中心として —
寿台 順誠 (早稲田大学大学院)
- 11:15-11:25 P-4 看護専門分野実習の経験から学ぶ生命倫理
柴田 恵子, 川本 起久子 (九州看護福祉大学)
- 11:25-11:35 P-5 介護老人保健施設で働く作業療法士が体験する信念対立とその対処法
小林 夕子 (吉備国際大学大学院), 京極 真 (吉備国際大学)
- 11:35-11:45 P-6 大学院修士課程 (専門看護師: CNS 教育課程) における倫理教育の取り組み — がん患者の医療・看護の事例を通して —
中尾 久子, 樗木 晶子 (九州大学)
- 11:45-11:55 P-7 医療における無益性に関する質問票調査
門岡 康弘 (熊本大学大学院), 浅井 篤 (熊本大学),
尾藤 誠司 (国立病院機構東京医療センター)
- 11:55-12:10 座長総括